

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	朝礼や部署ミーティングの場で確認したり、職員の目につきやすい所に掲示し、いつでも実践できるようにしている。毎月の部署ミーティングでも職員と一緒に目標達成できたのか振り返っています。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今年度は法人あげでの祭りを開催し地域交流を図りました。その他、新年祭や地域のクリーン活動には職員のみですが参加しました。	職員はクリーン活動に参加されたことは承知しております。コロナが始まってからは文化祭が中止になっていたが、それまでは運動会やどんど焼きなどの行事もあったので、これから地域行事などがあれば教えていただくことを願います。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	偶数月に利用者様・利用者家族様・民生委員・地域包括支援センターの方に参加して頂き、事業所の出来事や運営状況を報告し評価を受けている。	会議にて意見もらったことを、前回の議事を通して、その後の報告もしてくれている。また利用者ケアについて細かいところまで見てくれているなど感心しました。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域包括支援センターの職員に運営推進会議に参加してもらっている。市の介護相談員も年に数回訪問していただいた。また市へ必要な報告等があれば連絡を取っている。	なにか相談事があれば市に相談や報告などを行っているようなので、良いかと思います。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日中は玄関を開放し夜間のみ施錠している。身体拘束はしない基本方針のもと実践し、スピーチロックをしない声かけに気を付けている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	委員会活動を通して、身体拘束はしていない。スピーチロックにも気を付けているが、知らず知らずのうちに「ちょっと待って下さい」などの事を言っていることがあるかもしれない。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年に2回は全職員が虐待防止について学ぶ機会を持ち、職員間でも虐待のないよう声掛けを行っている。どんな事が虐待につながるかを委員会を通し学びミーティングで共有している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は年2回研修を受けている。虐待もないということであれば、Aの評価で良いのではないかと。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活自立支援事業や成年後見人制度を利用している利用者はいない。学ぶ機会は設けていなかった。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に十分に説明を行い、利用者や家族の不安や質問等を伺い、同意を得た上で署名・捺印を頂いている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の面会時や電話連絡時に要望や意見を聞くようにし、サービスへ活かせるように業務日誌やケース記録に残している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族からの要望等を受け止め、相談を繰り返していきながら、利用者ケアに努めている。連絡等があれば記録にも残している。	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月ミーティングを開催し、職員からの意見や提案を聞き、反映させている。定期的に面談も行い、職員の意見を聞く機会を設けている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部からの人事評価制度を導入し、自己評価も行い、年に数回、管理者と職員で面談を行い、職場環境などの相談したり職員の向上心を高められるよう取り組んでいる。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に数回、職員は上司と面談の機会があり、業務についての相談や困り事がないか話し合っている。	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	WEB研修を毎月受講し、働きながらスキルアップできるよう努めている。また外部研修にも機会があれば参加している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は毎月WEB研修を受講し、スキルアップできる環境が整っている。また、今年度は認知症介護実践リーダー研修にも参加した職員もいる。	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者が研修等に参加し、同業者との交流を図ることができた。また、運営推進会議にて意見交換したり、ご指導をいただいている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意思を確認しながら、共に生活していることを感じていただけるよう、一緒に活動を行うよう支援している。職員も会話の仲介に入っている。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの人からの手紙や贈り物も届いている。面会や外出については個々に対応し、途切れないよう努めている。	コロナが終わった訳ではないが、現在は玄関にてアクリル板越しにて面会を行っていて、つながりを維持できるよう対応している。また手紙をいただく方もいらっしゃる。		
<b>II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の生活の中から本人の意向が確認できるよう話を傾聴し把握に努めている。意思疎通が困難な方に対しては家族の意向も反映しながら本人本位に努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	6か月ごとにケアプランの見直しのためカンファレンスを行い、家族にもその時の状況を伝えたり、意向の確認を取っている。	本人の意思を尊重してもらっていると感じる。歩行不安定になっても車イスにせず、職員が近くで見守りや介助している対応しているので、家族としてはありがたいと思っている。例えケガしても仕方ない場合もあるかもしれない。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	6か月ごとに家族へ連絡を行い、意向を確認していることは大変良いと思う。ケアプランも変更等があれば説明している。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子をケース記録に残し、いつもと違うことや気づきがあったら朝礼で情報共有を行い、ケアプランの見直しに活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子を記録に残したり申し送りをしているが、中には抜け落ちて頓服薬を飲まなかったこともあったので、B評価とする。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看護師や管理栄養士、協力医療機関等で連携したり、法人内の多職種への相談も行い、柔軟な対応に取り組んでいる。	法人内での多職種もいるので、よりよいケアを実践していくために、各専門職から助言をもらいながら柔軟な対応にあたっていけると良い。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度も町内作品展は中止され、地域資源との交流は難しかったが、作品の制作活動を行っている。また地産地消に努めている。	来年度は文化祭が再開したら、出展し見に行けると良い。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	受診や往診時には医療連携表を活用し、現在の状態をお伝えし、適切な医療を受けられるよう支援している。			



22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院した際には電話等で病院と連絡を取り合い、必要な情報を伝えている。また、入院に必要なものがあれば家族と連携しながら準備している。病院から退院指示が出た場合も速やかに受け入れている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院時には病院へ情報提供を行っている。また退院時も速やかに受け入れ、病院・家族と連携し準備を行うことができた。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度化や看取り介護について、本人・家族に説明を行い、同意を得た上で対応している。協力医療機関とも連携できている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に重度化や看取りについて説明はさせてもらっている。その後、状態に応じて家族や主治医とも相談しながら対応方法を検討している。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	急変時に対応できるようAEDや心肺蘇生法の訓練を受講した。緊急時対応のWEB研修も受講している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年2回避難訓練(日中・夜間)を実施し、災害に対応できるよう非常食も準備している。地域の方にも見学していただいた。	年2回避難訓練を実施。区長さんや民生委員の方にも参加していただき、ご指導いただいている。非常食も3日分を準備している。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	災害といっても火災だけでなく地震や水害もある。避難訓練を通して、夜間避難するには職員数が少なく時間がかかることもあるが、なるべく速やかに避難できると良い。

### Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	丁寧な言葉かけや人権を尊重するよう職員同士声をかけ合っている。プライバシーを確保するために場所によっては戸を閉めるなどの対応をしている。広報誌等の写真掲載について同意を取っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	人権を尊重した声かけをしたり、プライバシーにも配慮している。利用者の前で職員での発言等も含めると、できていなかったこともあったかもしれない。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の思いや行動を尊重し、その人のペースに合わせた支援を行っている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食材の下ごしらえや盛り付け、後片付けなど一緒にできることをしている。季節に応じた献立や行事食を提供している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事の準備などを利用者と一緒にいたり、季節に応じた献立や行事食も提供しているということであれば大変良いと思います。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事量や水分摂取量を記録に残し、本人の状態を把握できるようにしている。水分が少ない方には、飲み物や声掛けに工夫して提供している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎食後、一人ひとりの口腔状態や能力に応じて、口腔ケアの声掛けや一部介助を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々に応じた口腔ケアをされているようなので、大変良いと思います。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の状態に応じて、適宜トイレ誘導や見守り・確認をしている。排泄の記録も残している。自立に向けた支援も随時カンファレンスを行い、取り組んでいる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々に応じた排泄介助や、自立に向けた取り組みもされているので、大変良いと思います。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	バイタルに異常がなければ、本人に入浴の同意を得てから入浴していただいているが、職員都合が大きい。個々の能力に沿った支援をしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	なるべく夜間に眠れるように日中の活動時間を作っている。また、個々の生活習慣により日中も休息できる時間も作るよう支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	服薬支援をする時にはお薬情報をもとに間違いがないか確認してから内服していただいている。その時に薬の作用も確認することができる。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	服薬も個々に応じた介助されているが、事故が起きていたことも事実である。同じことが起きないように徹底した対応をしていく。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎日体操したり、レクリエーションや家事活動・製作活動を通して張り合いや楽しみを持っていただくよう支援している。	毎日よくやっている。スタッフが一緒になって盛り上げてくれる。また、飽きないよう色々なレクもしている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	近所の散歩など日常的な外出や庭でお茶を飲んで団らんしたりした。新型コロナウイルスの影響で	たまに散歩に出かけ、気分転換を行っていた。コロナ渦で我慢していただくこともあったかもしれないが、家族からもご理解をいただいている。		

		人々と協力しながら出かけられるように支援している		時期によっては家族と外出したり、美容院に出かけた。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一部の利用者様では現金を持つことにより安心感を保つことができています。実際に使うことはなかった。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望があればいつでも電話できるように支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	四季折々に飾り付けを行い、季節を感じて頂いている。起床時にはカーテンを開け、夕方にはカーテンを閉めて頂くよう入居者様に手伝って頂いている。快適に過ごせるように、その日の気温に応じた温度調整を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	四季折々の製作から飾り付けもあり、利用者も喜ばれていると思います。居心地よく過ごしていただくように温度管理もされているので、安心して居る。共用空間にも生活感が取り入れられている。

**IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)**

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の思いを伝えられる人には、その意向に沿って支援している。伝えられない人には、行動や表情を見ながら傾聴し快適に過ごせるよう努めている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまでの生活歴を把握し、暮らしの習慣や生活リズムに柔軟に対応している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎朝バイタル測定し、日々の体調面を職員間で共有している。必要に応じ医療へつなげている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎朝、起床時にバイタル測定し健康管理できていると思います。体調変化あれば主治医等に相談している。



43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人のペースに合わせた支援に努めている。昼寝をしたり、一人になったり、編み物をしたり、個別に合わせている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自室には写真、手紙、ぬいぐるみ、テレビなど、本人の大切にしている物が置かれている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室には家族の写真や本人の好きなぬいぐるみがあったりして、本人の大切なものが置かれている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. あまりできていない	本人・家族の意向で美容室や馴染みの店に出かけることがあった。コロナの影響で個別に応じている。			
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後の食器拭きや洗濯物干し、たたみ物、体操、レクリエーションに参加できている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者同士、職員との会話を楽しんだり、会話が成立しない方には傾聴し否定しない対応をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の発言に対しては肯定し、いきいきと過ごしていただけるよう、家事活動もしていただいている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の清掃活動や新年祭には職員のみが参加し、コロナ禍を考慮し利用者は参加しなかった。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「ここに来てよかった」と言葉をいただいている。目が合ったり声をかけると笑顔を見せてくれている。	家族からは「十分よくしてくれている」「ここに入れて良かった」と言葉をいただいた。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	このグループホームにいてことによって、利用者同士のコミュニケーションや職員との関わりを持ちながら生活できている。